

一般社団法人横手青年会議所 2025年度 まちづくり・ひとづくり委員会 年間事業計画書（案）

担当副理事長	伊藤 慶紀	幹事	東海林 直大	委員	加藤 有紀（賛助）
委員長	畑 貴將	委員	田中 吾須雅		
副委員長	菊池 宏太	委員	土谷 康太郎		

【テーマ】

まちのためのひとづくり、ひとのためのまちづくり、未来のためのよこてづくり

【委員会が取り組む課題】

横手市は人口減少が進み、公共サービスや働く人々への負担が増加しています。人口が減ってもより良い地域にするためには、横手で暮らす私たちのまちを愛する心やよこてのまちを構成する1人という責任感が必要不可欠です。まちに対して無意識に感じている不満や不自由さを明白にし、解決方法を一緒に模索していくひとづくり、一緒に解決することができるまちづくりが必要です。

【委員会の目的】

- (1) 恒常的な課題解決ができるまちを目指します。
- (2) 地域の未来に対して希望が持てるまちを目指します。
- (3) (1) (2)の状態から、持続可能なまちづくり、未来に希望を抱くことのできるひとづくりを目指します。
- (4) 横手青年会議所の運動、活動に魅力を感じてもらい、会員拡大に貢献します。

【事業概要】

- (1) 人と人、地域と地域をつなぐ運動を実施します。
- (2) シビックプライドを醸成する事業を実施します。
- (3) 「よこてづくり」のビジョンを作成し、発信、提言します。
- (4) 他団体と連携をして事業成功に向け取り組みます。
- (5) その他渉外に関する事に取り組みます。
- (6) 日本 JC 協働運動プログラムの内容を理解し実行します。

【予算（概算）】

<支出内訳>		単位：円	
3月例会	18,000	10月例会	50,000
6月例会	182,000	合計	250,000

【成果発表の方法とその時期】

<p>(1) 担当例会終了後に報告します。</p> <p>(2) 理事会・デスクネット等で報告します。</p> <p>(3) 日本 JC 協働プログラムを実施した場合はその都度報告します。</p>
--

【年間スケジュール】

1月	2月	3月	4月	5月	6月
3月例会上程	3月例会上程	3月例会	6月例会上程	6月例会上程 3月例会事業報告	6月例会
7月	8月	9月	10月	11月	12月
	10月例会上程	10月例会上程 6月例会事業報告	10月例会		10月例会事業報告 年間事業報告

<p>第3回 三役候補者会での意見と対応</p> <p>意見1 全体的に話し言葉が混ざっています。</p> <p>対応1 見直し、修正いたしました。</p> <p>意見2 「まちを維持するために1人にかかる負担」とはどのようなものでしょうか。</p> <p>対応2 最低限の公共サービスや公安の維持費を人口で頭割りした時の金的な負担や、顧客の多くを横手市民とする民間企業の働き手1人にかかる役割を指します。具体的に記載いたしました。</p>
--

意見 3 「まちを～問題」は横手市民全体が対象となりますか。

対応 3 横手市民全体が対象となります。主語として「横手に住み、暮らし、働く私たち」を追記いたしました。

意見 4 予算に担当月を記載してください。

対応 4 追記いたしました。

意見 5 街の漢字をひらがなにしてください。

対応 5 まちに訂正いたしました。

意見 6 よこてづくりのビジョンは委員会で作成する予定でしょうか。また発信した先はどう見据えていますか。

対応 6 委員会が中心となり、45 周年準備室や作成に適宜だと思われる方と協力し作ります。次の 5 ヶ年計画に基づき今後の横手青年会議所の事業の足がかりにすることや、団体、行政などに提言します。

意見 7 事業概要（1）に「地域と地域」とありますが、横手とどこか、それとも横手市内で雄物川と大雄を繋ぐという意味でしょうか。

意見 7 両方を意味します。また、前者は横手と横手周辺のまちを考えています。

意見 8 よこてづくりの事業は行わないのでしょうか

対応 8 事業概要に追記いたしました。

意見 9 地域課題を明白にするのが課題なのか、人口減少が課題なのかわかりづらく感じます。

対応 9 文言を具体的に記入いたしました。

第 3 回 理事候補者会での意見と対応

意見 1 意見対応の意見 9 のフォントが違うので修正してください。

対応 1 MS 明朝になっていたため游明朝に修正いたしました。

意見 2 委員会の目的(4)に活動とありますが、あえて活動だけにした理由はどのような意図でしょうか。

対応 2 運動が抜けていたため、追記いたしました。

意見 3 課題の「無意識に感じている～」の無意識を入れた意図を教えてください。

対応 3 人間は同じ環境にいると順応してしましますが、そうした中に当たり前が作られていくと思います。マイナスな当たり前になる前に意識づけすることによりまちに対する責任感が生まれると考えます。そのようなことから無意識という言葉を使っています。

意見 4 課題解決のために具体的に 1 年の運動でどのような事業展開とボリュームをイメージしているのでしょうか

対応 4 1 年間を通して課題を解決するために、私たち委員会や会員のみならず、地域の学校、企業、団体、行政などと協力し、3 回の例会を通じて事業の目的達成を目指します。また、今年 1 年だけでなくこれからも自走するモデルケースを計画し、私たちが手を加えずとも持続可能な事業を行います。問題の解決がゴールではなく、問題に向き合う意識づけをできるかがゴールとなります。

意見 5 職務分掌で SNS の発信と記載されていますが、年間事業計画書に記載がありません。拡大について記載しているため、SNS 発信も記載した方がいいと思います。

対応 5 近年の事業では必ずと言っていいほど SNS の発信が行われています。特筆すべきことではないと思い、記載しておりません。具体的な取り組みについてですが、広報や活動運動の報告を予定しています。

意見 6 まちの課題をピックアップする人、解決する人はどのような人を指すのでしょうか。

対応 6 すでに実績のある企業や団体も含まれますが、こちらについては直接ものを申せば早いという意味で記載しております。

意見 7 委員会が取り組む課題の文章が複雑で分かりづらい部分があります。

対応 7 簡潔な文章に修正いたしました。

意見 8 事業概要(1)について事業、運動とありますが、活動はないのでしょうか。

対応 8 「運動」に修正いたしました。

第4回 三役候補者会での意見と対応

意見1 委員会メンバーの縦ラインを統一してください

対応1 修正いたしました。

意見2 「問題」・「できません」はどちらもマイナスの文章で、並べているところに違和感を感じます。言い回しの見直しをお願いします。

対応2 課題について再修正いたしました。

意見3 不自由は不自由さの方が適切です。

対応3 不自由さに修正いたしました。

意見4 課題について「まちに対する」などの追記があった方が良くもありません。

対応4 「まちに対して」を追記いたしました。

意見5 目的の(1)について本来の意味と文章が異なっているように再考をお願いします。

対応5 再考し、文章を修正いたしました。

意見6 予算について再考をお願いします。

対応6 計画を再考し予算を修正いたしました。

意見7 目的の(3)について文章がおかしいところがあります。

対応7 修正いたしました。

意見8 年間スケジュールの欄に事業報告の追記をしてください。

対応8 3回の事業報告を追記いたしました。

意見9 予算の順番を修正してください。

対応9 フォーマットに合わせて修正いたしました。

第4回 理事候補者会での意見と対応

意見 1 「働く私たち」と限定的に記載した理由を教えてください。

対応 1 限定するつもりはありません。文章を「横手で暮らす私たちの」と修正いたしました。

意見 2 課題について文言の繋がりがなく感じます。

対応 2 「人口が減っても」という文言を追記いたしました。

第 5 回 三役候補者会での意見と対応

意見 1 委員会が取り組むべき課題にある「責任感」とは何に対する責任感でしょうか。

対応 1 よこてのまちを構成する 1 人という責任感を指します。追記いたしました。

第 回 理事候補者会での意見と対応

意見 1

対応 1